

第73回 福証IRフェア 会社説明資料

2017年2月16日

 **日本乾溜工業株式会社**
NIPPON KANRYU INDUSTRY CO.,LTD.

目次

1. 会社概要	P. 3
2. 事業内容	P. 5
3. 業績について	P. 12
4. 特色	P. 16
5. 交通社会問題への当社の取組み	P. 25
6. 中期経営計画について	P. 29
7. 株式の状況	P. 33

1.会社概要

- 社 名 : 日本乾溜工業株式会社
- 本 社 : 福岡市東区馬出1丁目11番11号
- 設 立 : 昭和14年7月1日
- 資 本 金 : 4億13百万円
- 年 商 : 連結106億90百万円 (2016年9月期)
- 従 業 員 : 連結 222名 (2016年9月期)
- 株式市場 : 福岡証券取引所 単独上場



目次

1. 会社概要	P. 3
2. 事業内容	P. 5
3. 業績について	P. 12
4. 特色	P. 16
5. 交通社会問題への当社の取組み	P. 25
6. 中期経営計画について	P. 29
7. 株式の状況	P. 33

2.事業内容

経営理念

環境にやさしく安全な社会の
創造に向けてあくなき挑戦を続ける。

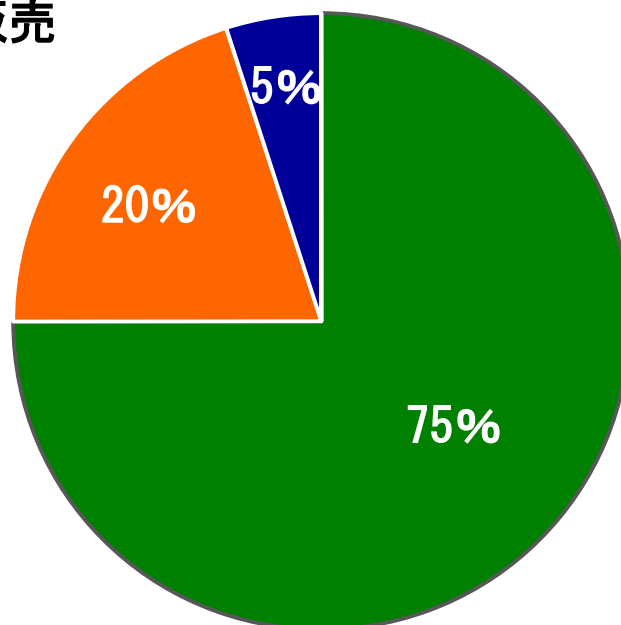
化学品事業

不溶性硫黄の製造・販売
防草土の製造・販売

防災安全事業

防災用品の販売
産業安全衛生用品の販売

《売上高構成》



建設事業

交通安全施設工事、
法面工事、土木工事、
景観工事、メンテ工事、
各種建設資材の販売

2.事業内容

建設事業

交通安全施設分野



法面防災分野



2.事業内容

■ 建設事業

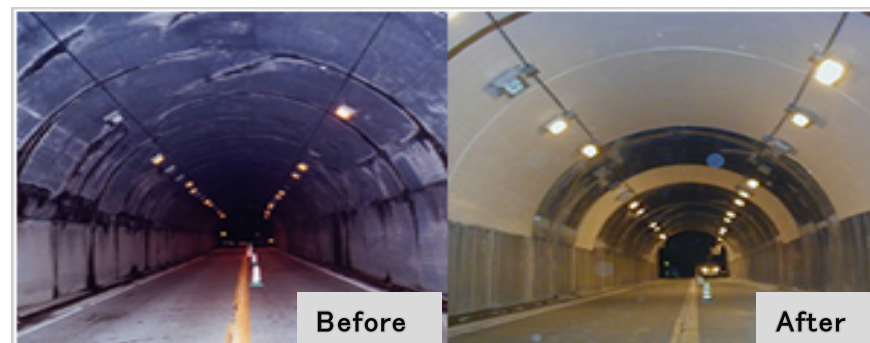
土木分野



景観分野



コンクリート構造物補修分野



2.事業内容

■防災安全事業

防災用品



産業安全衛生用品



2.事業内容

■化学品事業

不溶性硫黄

国内唯一の60%不溶性硫黄

不溶性硫黄とは、ゴム製品に弾性を与えるゴム加硫剤の一種。国内主要タイヤメーカーに採用。

※ブルーミング

ゴムに溶け込んだ硫黄が冷却によって粉が吹くように表面に出て、貼り合わせて製造するタイヤやゴムベルト等の接着不良の原因となる現象

黒崎工場



北九州の八幡にて、
ピッチコークスを製造する
化学品製造会社としてスタート



ピッチコークス



2.事業内容

■化学品事業

雑草アタック（防草土）

セメントや化学的な薬剤を一切使用せず、土に還る自然素材だけで環境型自然土防草舗装材を開発しました。土と竹短繊維と海水中のにがり成分などの天然素材だけで出来た、草が生えなくなる土です。



●施工写真



施工前



施工後

●大村公園（長崎県）



●立田自然公園泰勝寺跡（熊本県）



●大分県護国神社（大分県）

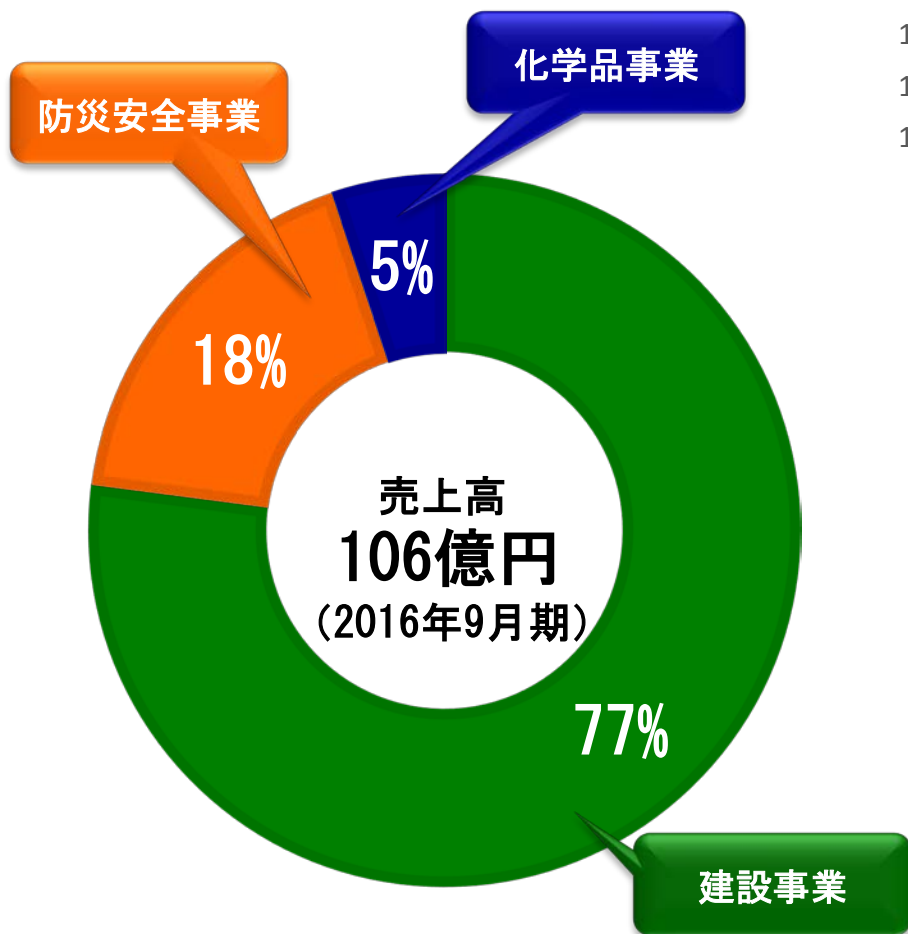


目次

1. 会社概要	P. 3
2. 事業内容	P. 5
3. 業績について	P. 12
4. 特色	P. 16
5. 交通社会問題への当社の取組み	P. 25
6. 中期経営計画について	P. 29
7. 株式の状況	P. 33

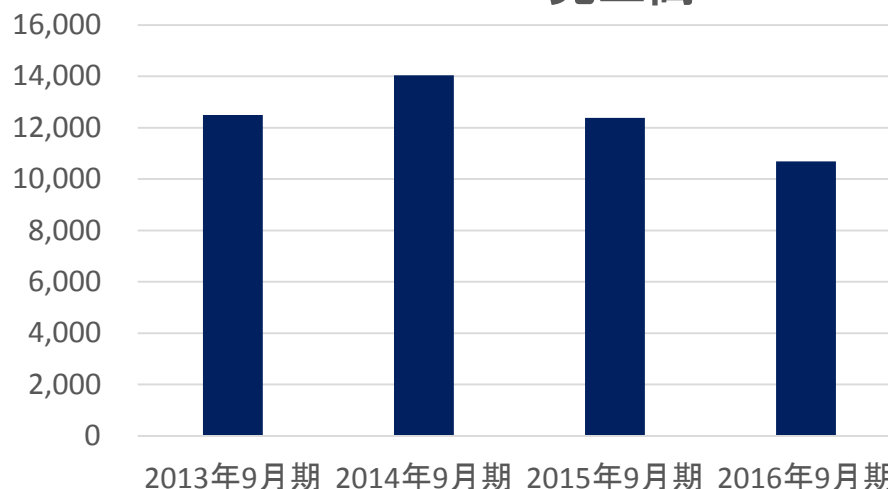
3.業績について

■2016年9月期決算（連結）

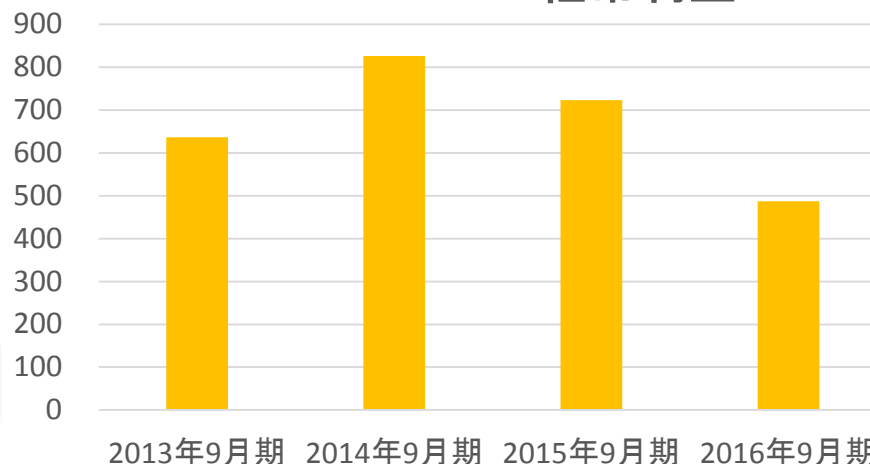


■業績の推移（連結）

売上高 (単位:百万円)



経常利益

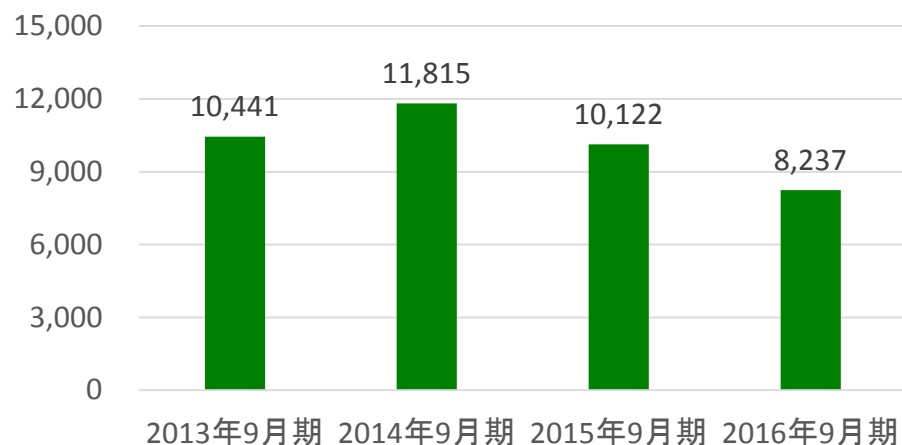


3.業績について

■事業部別業績の推移（連結）

建設事業

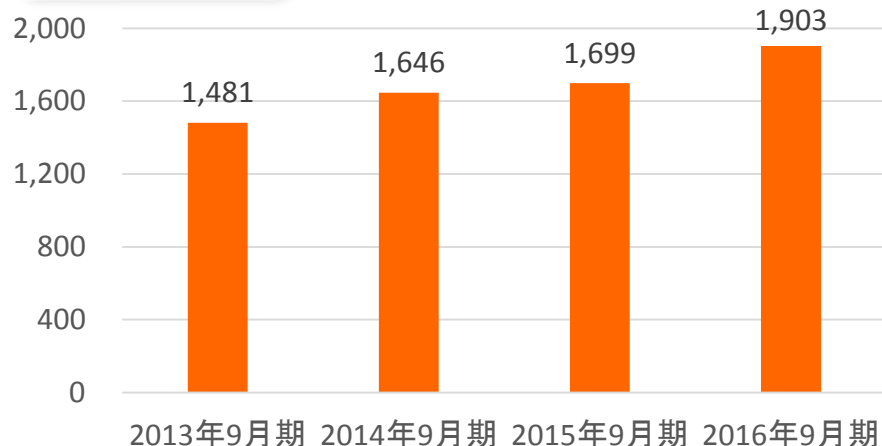
(単位:百万円)



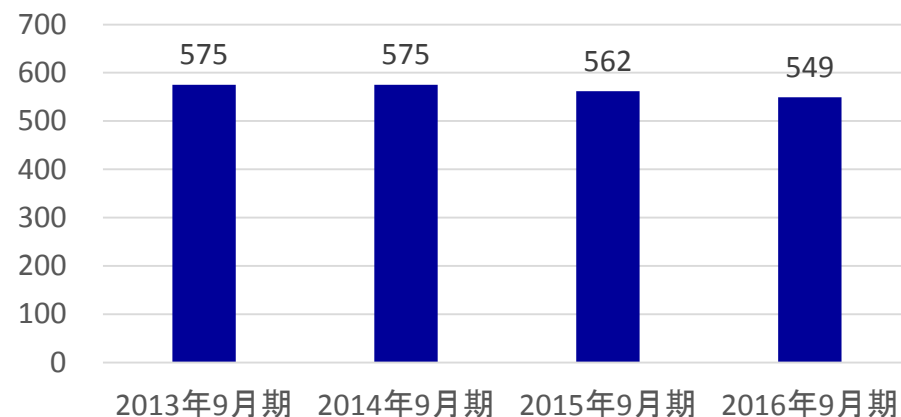
(単位:百万円)

	H25年9月	H26年9月	H27年9月	H28年9月
建設事業	10,441	11,815	10,122	8,237
防災安全事業	1,481	1,646	1,699	1,903
化学品事業	575	575	562	549
合計	12,497	14,037	12,384	10,690

防災安全事業



化学品事業

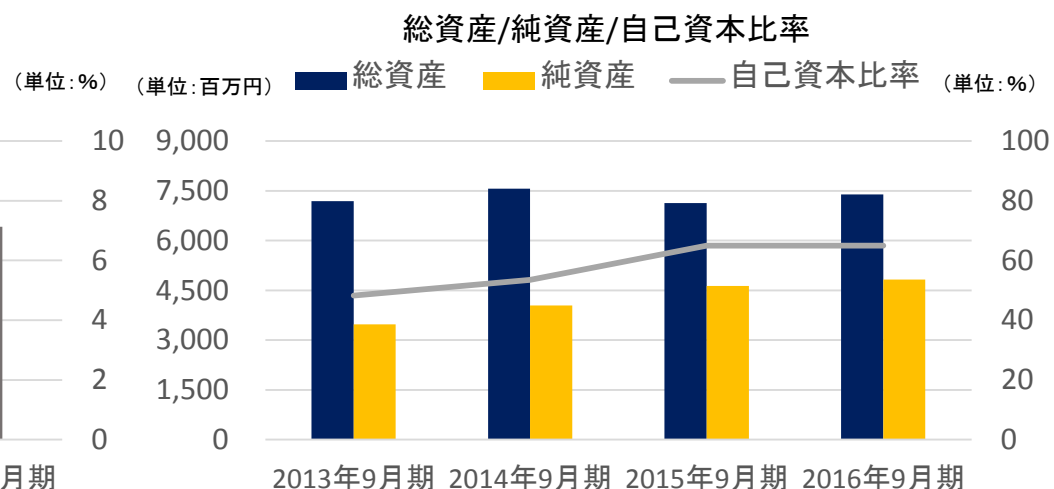
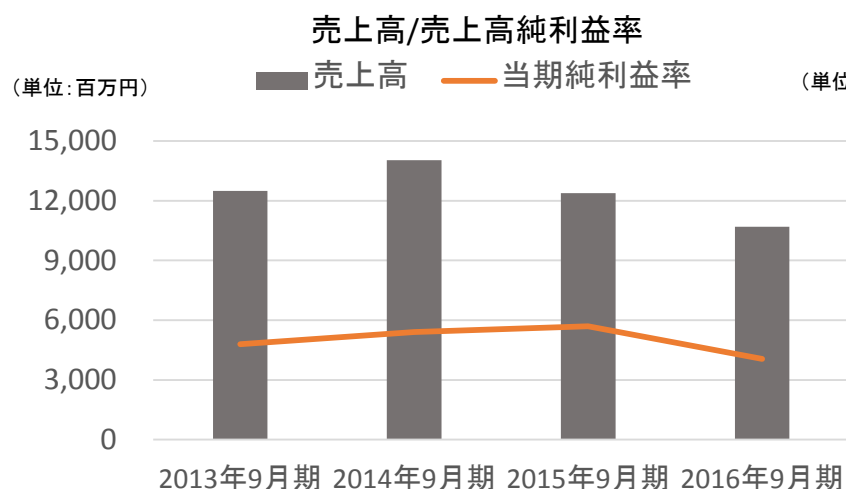


3.業績について

■財産及び損益状況の推移（連結）

（単位：百万円）

	H25年9月	H26年9月	H27年9月	H28年9月
売上高	12,497	14,037	12,384	10,690
経常利益	636	826	723	487
親会社株主に帰属する当期純利益	406	504	472	288
1株当たり当期純利益	76円85銭	96円43銭	90円14銭	53円99銭
総資産	7,193	7,564	7,133	7,395
純資産	3,477	4,049	4,635	4,823

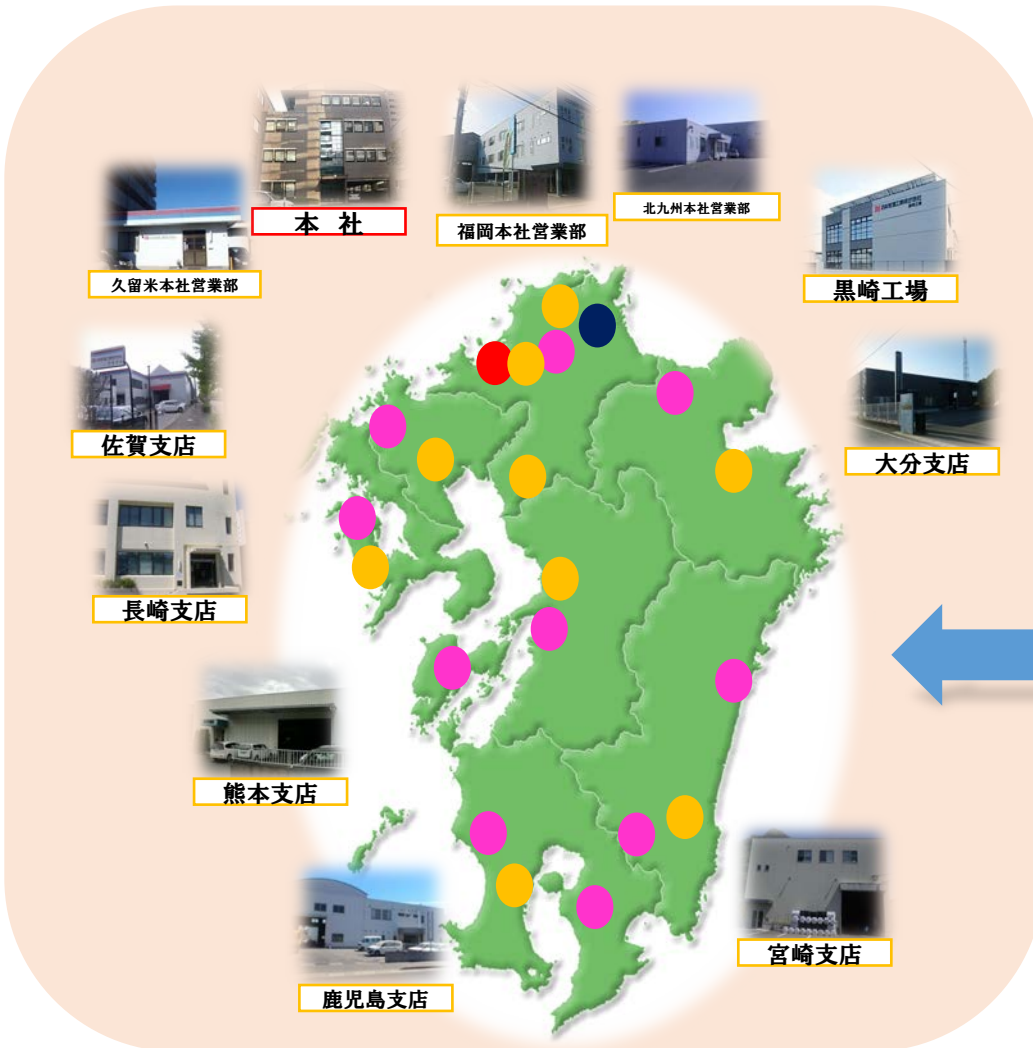


目次

1. 会社概要	P. 3
2. 事業内容	P. 5
3. 業績について	P. 12
4. 特色	P. 16
5. 交通社会問題への取組み	P. 25
6. 中期経営計画について	P. 29
7. 株式の状況	P. 33

4.特色

本店 : 1ヶ所
 支店 : 10ヶ所
 出張所 : 10ヶ所
 工場 : 1ヶ所



久留米本社営業部

本社

福岡本社営業部

北九州本社営業部

黒崎工場

大分支店

佐賀支店

長崎支店

熊本支店

宮崎支店

鹿児島支店



木更津支店

4.特色

■福岡県

■本社社屋



■北九州本社営業部



■福岡本社営業部



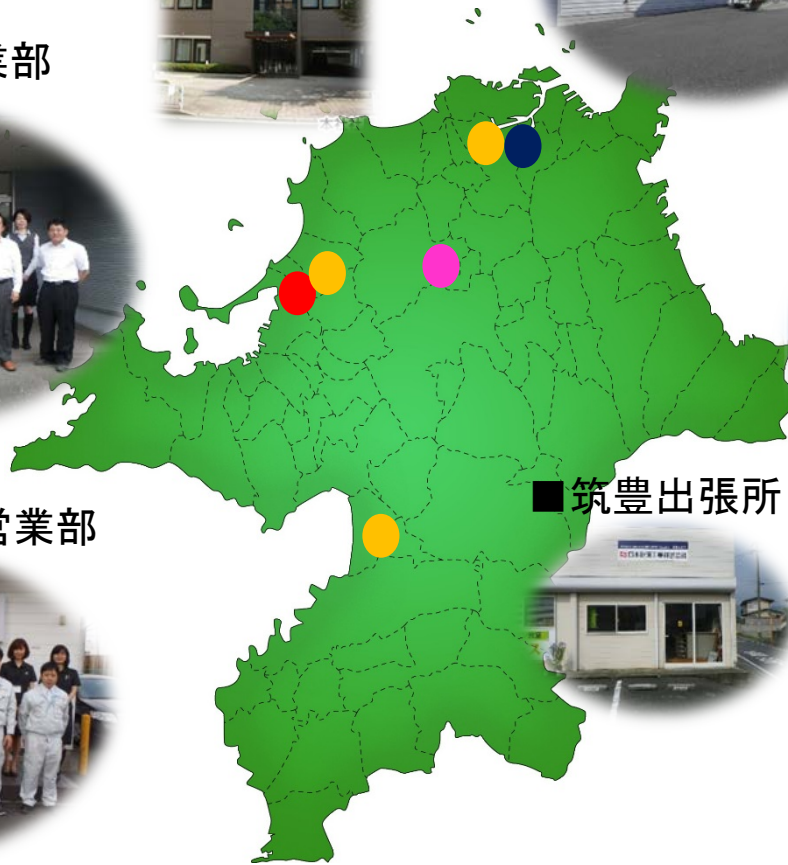
■黒崎工場



■久留米本社営業部



■筑豊出張所



本店	:	1ヶ所
支店	:	3ヶ所
出張所	:	1ヶ所
工場	:	1ヶ所

4.特色

■佐賀・長崎県

支店 : 2ヶ所
出張所 : 2ヶ所
子会社 : 1ヶ所

■唐津出張所



■佐賀安全産業株式会社



■佐賀支店



■佐世保出張所



■長崎支店



4.特色

■川内出張所



■鹿児島・宮崎県

支店 : 2ヶ所
出張所 : 4ヶ所
子会社 : 1ヶ所

■延岡出張所



■宮崎支店



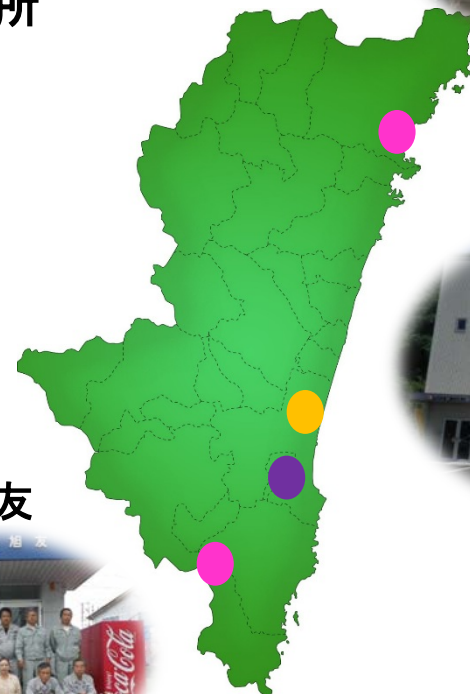
■鹿屋出張所



■旭友



■鹿児島支店



4.特色

■熊本・大分県

支店 : 2ヶ所
出張所 : 3ヶ所

■熊本支店



■大分支店



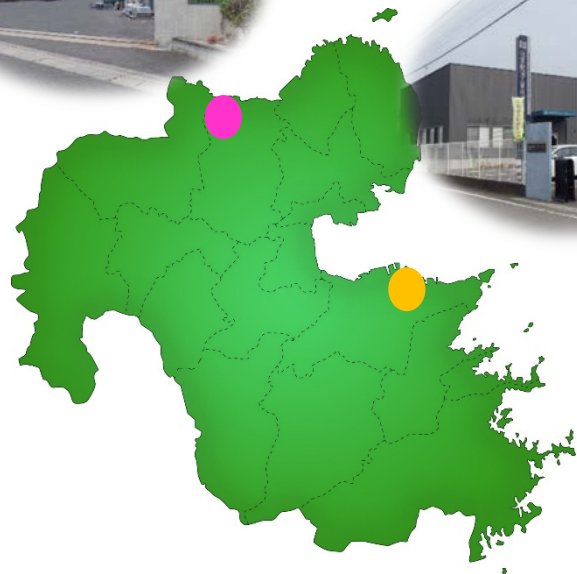
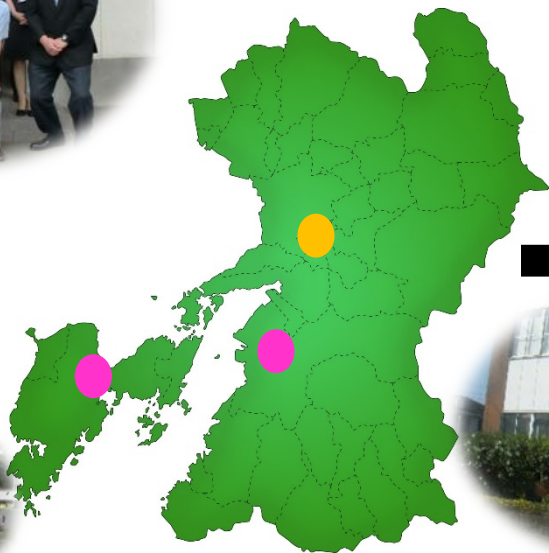
■中津出張所



■八代出張所



■天草出張所



4.特色



安全をお届けするために

主力とする建設事業は、一般的な土木建設とは異なり、安全を創造する交通安全施設工事、防災および減災の一環である斜面崩壊防止工事、コンクリート構造物の長期的な活用を促進する維持補修(メンテナンス)工事などの専門工事業であります。

4.特色



ガードレール

高炉メーカー

鉄鋼建材メーカー



新日鐵住金



JFE スチール 株式会社



株式会社神戸製鋼所

日鐵住金建材株式会社

J F E 建材株式会社

神鋼建材工業株式会社

鉄
鋼
建
材
商
社

日本乾溜工業株式会社

建材商社

建設会社

自社施工

4.特色

■大株主（上位10名）

（2016年12月31日現在）

	氏名又は名称	所有株式数（株）	割合（％）
1	伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	290,000	5.75
2	株式会社 福岡銀行	245,000	4.86
3	日鐵住金建材株式会社	220,000	4.36
4	日本乾溜工業従業員持株会	196,917	3.90
5	日本乾溜工業取引先持株会	193,000	3.82
6	株式会社 西日本シティ銀行	191,000	3.78
7	にしけい株式会社	188,000	3.73
8	大阪中小企業投資育成株式会社	134,000	2.65
9	JFE建材株式会社	120,000	2.38
9	神鋼建材工業株式会社	120,000	2.38

目次

1. 会社概要	P. 3
2. 事業内容	P. 5
3. 業績について	P. 12
4. 特色	P. 16
5. 交通社会問題への取組み	P. 25
6. 中期経営計画について	P. 29
7. 株式の状況	P. 33

5.交通社会問題への取組み

■高速道路ナンバリング/道路標識の国際化

E1

E56

C4



■道路標識の国際化に向けて...

5.交通社会問題への取組み

■暫定2車線高速道路の正面衝突防止対策

H24～ 道央道・磐越道で拡幅により中央帯1.5mを確保してワイヤロープを試行設置



(道央道 大沼公園IC～森IC) 延長1.5km



(磐越道 三川IC～安田IC) 延長0.4km

⇒ 車両接触事故3件。反対車線への飛び出し、死傷者なし。



H28～ 既存幅員内でのワイヤロープ設置の適用性を検証

※有料の高速道路において検証を実施

※各箇所で開催機関協議や設計・施工を進め、平成29年度春より設置検証を開始

■右図ワイヤロープ試行設置
 路線上の当社元請工事にて、
 九州初となる試験施工を実施中

工事名：九州自動車道鹿児島高速道路
 事務所管内防護柵改良工事



[ワイヤロープ]



※写真は中央帯1.5mを確保して設置している事例

[従来のラバーポール]



①高い衝撃緩和性能

車両衝突時に中間支柱が倒れ、ワイヤロープのたわみが車両の衝撃を緩和して、安全に誘導。

②狭い幅で設置が可能

細い支柱にワイヤロープを通しているため、設置幅が少なく、既存幅員内で設置が可能。



車両が受ける衝撃を緩和



細い支柱

出典：国土交通省ホームページ (http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/front_accident/index.html)

5.交通社会問題への取組み

■ 高速道路での逆走発生状況と社会が取り巻く状況

- ・ 高速道路での逆走は2日に1回の割合で発生しており、悲惨な事故が後を絶たない。
- ・ 免許保有者に占める高齢者数、認知症の高齢者数はともに増加傾向にある。
- ・ 逆走は海外でも多発しており、各国でも防止対策を進めている。

《九州自動車道 福岡IC～久留米IC間防護柵改良工事》



■ 現在の逆走対策と効果

平成26年度に逆走多発箇所33箇所を抽出し、道路側での物理的、視覚的な逆走対策を実施。年間20件（うち事故6件）発生していた逆走が、年間4件（うち事故0件）へと減少し、対策による一定の効果を確認。

■ 現行の逆走対策の拡大、拡充

- ・ 視覚に訴える対策（注意喚起標識等）
- ・ 物理的抑止対策（ラバーポール設置等）
- ・ カーナビを活用した逆走車両への警告

誤進入・逆走防止LED発光サイン



目次

1. 会社概要	P. 3
2. 事業内容	P. 5
3. 業績について	P. 12
4. 特色	P. 16
5. 交通社会問題への取組み	P. 25
6. 中期経営計画について	P. 29
7. 株式の状況	P. 33

第79-81期) 中期経営計画

目指す企業像

より必要とされる企業へ

『100年企業』に向けての磐石な経営基盤づくり

基本方針

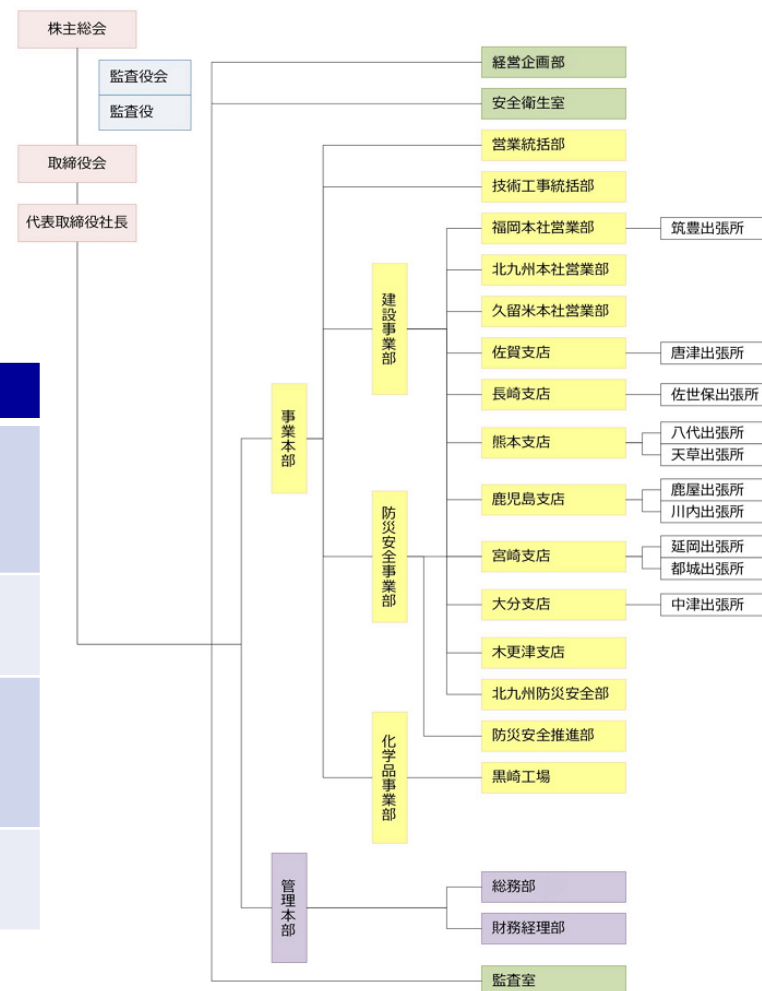
- ◆3事業分野の事業領域の拡大
- ◆収益力の向上と財務基盤の強化
- ◆人材・組織力の強化と企業統治の向上

6.中期経営計画について

■新体制

取巻く事業環境の変化に
スピード感を持って対応するため
平成28年10月1日付で組織変更を実施。

事業方針	基本戦略
3事業部（分野）の更なる前進	<ul style="list-style-type: none"> 新規分野（事業領域、取引先、商品）への更なる挑戦と開拓 期待されるメーカー代理店への成長
「収益力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> 一人当たり生産性の向上 安定収益源の拡大と堅持
人材成長の促進	<ul style="list-style-type: none"> 若手社員の早期戦力化へ人材育成意識の醸成 事業面におけるゼネラリスト及びスペシャリストの養成
ソリューション営業の強化	<ul style="list-style-type: none"> 一步先のニーズを捉え、顧客が期待する情報・技術を提供できる営業スタイルの構築



6.中期経営計画について

目指す企業像

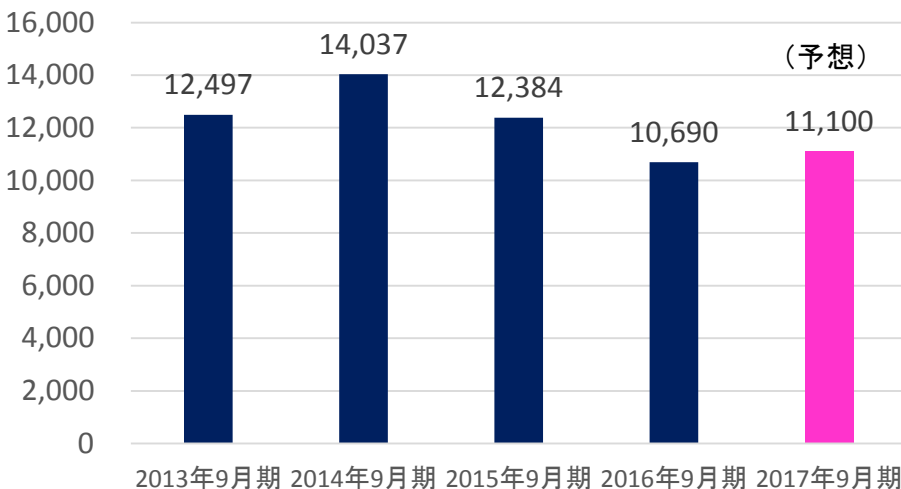
より必要とされる企業へ

『100年企業』に向けての磐石な経営基盤づくり

■2017年9月期業績予想

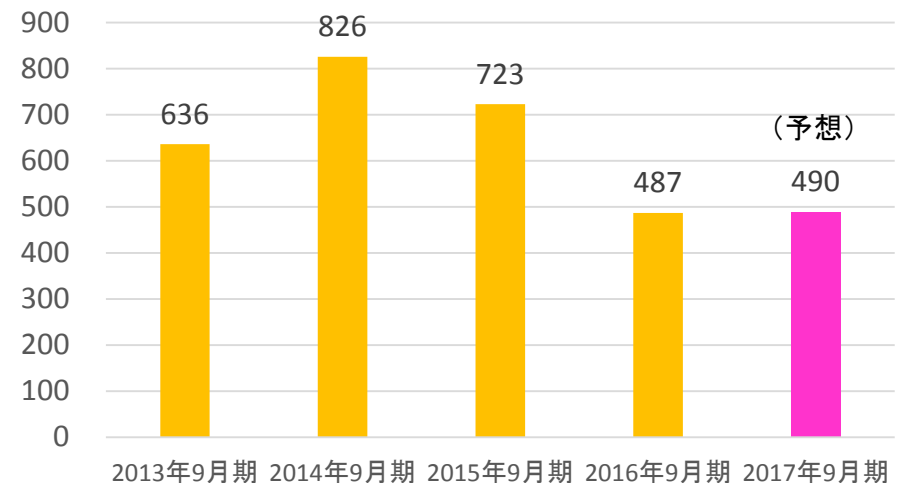
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



目次

1. 会社概要	P. 3
2. 事業内容	P. 5
3. 業績について	P. 12
4. 特色	P. 16
5. 交通社会問題への取組み	P. 25
6. 中期経営計画について	P. 29
7. 株式の状況	P. 33

7.株式の状況

平成28年10月1日より、
単元株式数（売買単位）を変更しました。

■単元株式数

1,000株 ⇒ 100株

日本乾溜工業株式会社
株価チャート（1年）

350円～380円台にて推移



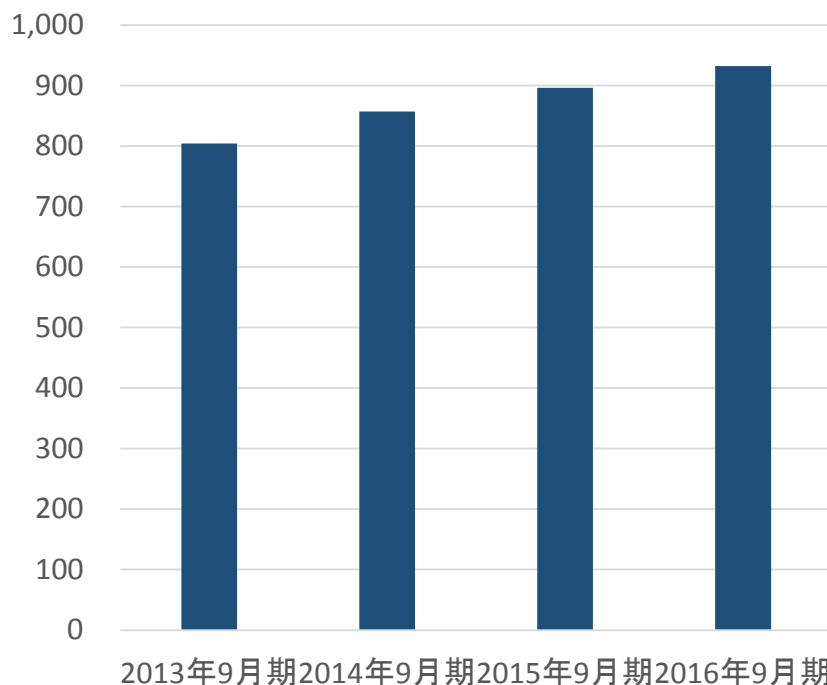
7.株式の状況

■配当方針

株主の皆様への利益還元を重要視し、安定的な経営基盤の確保に努め、株主配当につきましても、安定的に継続することを基本方針としております。

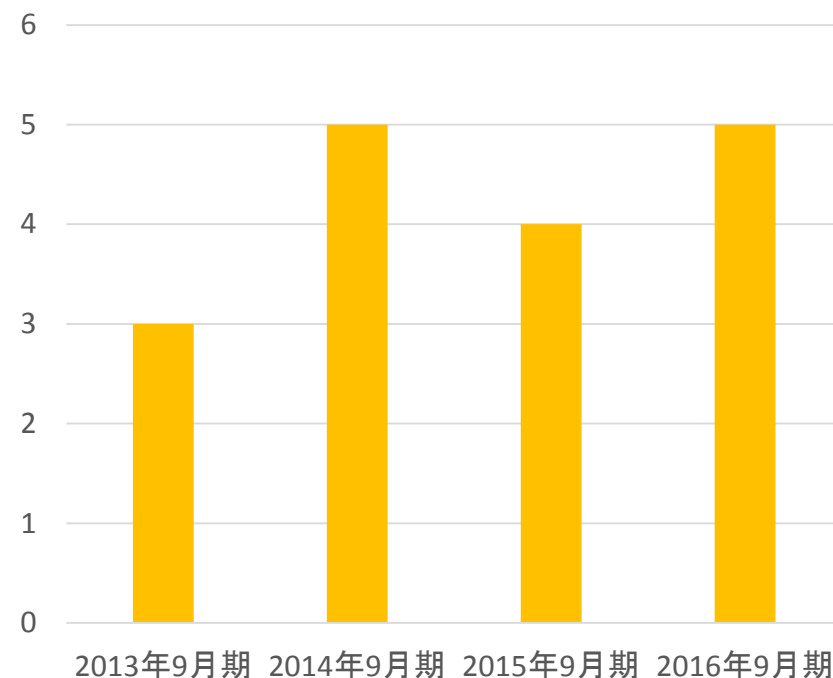
■株主数

(単位:人)



■配当状況

(単位:円)



7.株式の状況

平成28年10月1日より、
株主優待の内容を変更しました。

■株主優待 図書カード ⇒ QUOカード

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1,000株以上の株式を保有して頂いている株主様に対し、下記の基準に基づきまして株主優待を贈呈させていただきます。



条 件	優 待 内 容
1,000株以上で保有期間3年未満	QUOカード3,000円分
1,000株以上で保有期間3年以上	QUOカード5,000円分

※継続期間の算定にあたっては、同一の株主番号とさせていただきます

【お問合せ先】 福岡市東区馬出1丁目11番11号
日本乾溜工業株式会社 管理本部 総務部
TEL 092-632-1050

【お問合せ先】

福岡市東区馬出1丁目11番11号

日本乾溜工業株式会社 管理本部 総務部

TEL 092-632-1050 FAX 092-632-1082

本資料は、事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の当社の判断や入手可能な情報に基づくもので、その情報の正確性、完全性を保証、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。



NIPPON KANRYU INDUSTRY CO., LTD.